



若い群像

店内いっぱい、甘い果物の香りと、花の香りがたよう。

中村妙子さんは、市内栄町にある田中青果店の店員さんです。

水仙、チューリップ、カーネーションなど四季とりどりの花に囲まれて、毎日の仕事は楽しさとともに、蜜蜂のようにも忙しい。

でも、リンゴやミカンなど、新鮮な果物に囲まれて、妙子さん自身も店内では新鮮な果物のように働く。

最近の生活の中で、生花を使用することが多くなり、冠婚葬祭などの花かごなども毎日のように作らなければいけない。

喜びの時には嬉しさいっぱいの花かごを、悲しみの時には、静かに想い出を語るような花かごを、とその時々々の花かごをアレンジするのには苦労するといいます。

また、妙子さんは学生としての道を歩んでいます。

夜は留萌高校二年生としての学生生活、昼は花にかこまれて、人々に喜びをあたえながら、五月の空のように働いています。

広報

若い群像

'73 5 月号
第182号